

あなたの  
お家の近くに  
空き家になっ  
ている建物  
ありませんか？



～空き家問題の解決へ～



空き家は、近隣住民の暮らしを脅かすこととなります。

周辺に草が生い茂って、虫がわいてしまったり、  
軒が剥がれたり、屋根が崩れ落ちたりします。

最悪の場合、建物が傾き始めたり、倒壊の恐れもあります。

台風などの強風時には、周辺に災害を引き起こしてしまう要因にもなります。



空き家は悪臭の発生や  
老朽化による倒壊など  
周辺に悪影響を与えます



～空き家問題の解決へ～

さらに不審火や不審者の  
出入りなど地域の防犯率が  
低下する可能性があります



見るからに空き家と分かったら、  
不審者が侵入して、住みついてしまったり、  
放火や不審火の要因にもなります。

災害だけでなく、犯罪の温床にもなりかねません。

空き家問題は、家族の死別、離別などにより、  
管理する責任の相続が上手くいかない場合に、起こってしまいます。

行政においては、空き家であっても、あくまで個人の財産であるため  
撤去したり修繕したりは、基本的にはできません。

近隣住民を脅かす空き家問題。  
とても切実な課題です。

これからも増えていくかもしれない空き家。  
この問題を解決していくには、どのようにすれば良いのでしょうか？



さらに不審火や不審者の  
出入りなど地域の防犯率が  
低下する可能性があります



～空き家問題の解決へ～



それは、『空き家になっていくことを防ぐ』ことが最も重要です。  
これには、地域の中でも対策できることがあります。

それは、地域コミュニティを深めていくことです。  
常日頃からご近所どうしの付き合いを密にしておくことで  
相談し合えたり、お互いに、きちんと責任を果たす関係性も構築されます。

また、緊急時の連絡先などで、ご家族の電話番号などを把握しておくこと  
救急搬送されたり、緊急で困ったことがある際に役立つばかりか、  
住人がお亡くなりになった後なども、  
空き家のことで、ご家族に連絡することができます。

「隣りの人が、いつから居ないか分からない」  
「名前や家族構成など知らない」  
「もちろん、家族の連絡先なんて分からない」  
こういう関係性では、空き家になっていってしまいます。

ご近所どうしで繋がって、お互いの安全や安心を高めていきましょう。  
長い目線で考えると、空き家になってしまうことや、  
災害や犯罪を防ぐことにもなっていますね。

おしまい、おしまい。





ご近所さんとの関係づくりが  
空き家問題の解決に繋がります

～空き家問題の解決へ～

あなたのお家の近くに  
空き家になって  
いませんか？



全国的に、『空き家』が急増しています。

核家族化や高齢化の進展、まちの過疎化。

そして、血縁関係や、地域コミュニティが希薄になっていることも要因です。

いまや、6軒に1軒は空き家だと言われています。

一時的に居住者がいなかったり、管理されている家屋は問題ありませんが  
人が住まなくなった家は、どんどん傷みが進みます。

このまちの中で、そんな空き家はありますか？

今後も空き家が増えていくことも考えられます。



作成：認定NPO法人好きっちゃ北九州

一般財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団

2023年度「住まいとコミュニティづくり活動助成」

絵：北九州市立大学防犯・防災プロジェクトMATE's